

第1回SJAC会員企業部隊研修 (航空自衛隊百里基地)

令和5年9月15日、SJAC会員企業による航空自衛隊百里基地研修を実施したので、その概要を報告する。

1. 研修の背景

令和4年12月16日、「国家安全保障戦略」・「国家防衛戦略」・「防衛力整備計画」（いわゆる安保3文書）が閣議決定されその内容が公開された。この国家防衛戦略の中に『いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤』と明記されたことを受け、SJACは今年度より会員企業と一線部隊との意思疎通・相互理解を深める施策として新たに部隊研修の取り組みを始めることとした。

正会員企業85社のうち36社54名の皆様から参加希望があり、今年度は2回に分けて研修を実施することとし、第1回目は24社39名で実施した。

2. 研修概要

次に示すスケジュールで研修を実施した。

- ・ 11：30～11：45 JR石岡駅集合後、チャーターバスに乗車して出発
- ・ 12：10～12：40 茨城空港にて時間調整
- ・ 12：50 百里基地正門到着
- ・ 13：00～13：45 広報資料館にて基地概要説明を受け展示品を見学
- ・ 13：50～14：20 第7基地防空隊見学
- ・ 14：30～15：00 第3飛行隊見学
- ・ 15：10～15：40 百里救難隊見学
- ・ 15：45～16：00 基地売店にて買い物
- ・ 17：00 JR石岡駅にて解散

3. 参加企業（順不同）

- メイラ（株）
- 日本ポール（株）
- 新明和工業（株）
- （株）湘南精機
- 相互発條（株）
- 櫻護謨（株）
- 東京計器（株）
- 東芝電波プロダクツ（株）
- （株）ジャムコ
- 日本電気（株）
- （株）島津製作所
- （株）吉光工業
- 古河電池（株）
- （株）ジーエス・ユアサ テクノロジー
- TANIDA（株）
- （株）アイ・シー・エス
- 三菱重工航空エンジン（株）
- 日本航空電子工業（株）
- （株）日本製鋼所
- 三菱電機（株）
- ナブテスコ（株）
- 住重フォーシング（株）
- 東京航空計器（株）
- 三菱電機ソフトウェア（株）

4. 部隊見学

(1) 広報資料館

広報資料課にて百里基地の概要説明のプレゼンを受けたのち、展示されている資料や

F-4EJ戦闘機の操縦席などを見学した。

(2) 第7基地防空隊

基地防空に関するレクチャーを受けた後、

旧式の81式短距離地対空誘導弾、およびその後継となる基地防空用地対空誘導弾と射撃統制装置を見学した。



基地防空に関するレクチャー



対空誘導弾および射撃統制装置の見学

(3) 第3飛行隊

明を受け、操縦席に座るなどの体験をした。

格納庫内でパイロットよりF-2A戦闘機の説



機体見学

(4) 百里救難隊

2グループに分かれエプロン地区にて
UH-60J救難ヘリ、救難隊格納庫にてU-125A

救難搜索機の機体見学と、救難員の装備品見
学を行った。



救難隊概要説明



機体見学

5. 参加者アンケート

会員企業からの参加者39名に対し、基地研修に参加した感想、要改善点や要望事項、今回参加できなかった会社および今後SJACへの入会を考えている会社へひとこと、というテーマでアンケートを実施した。

頂いたコメントのうち要改善点については次回以降の研修に確実に反映するとともに、基地側とも共有していきたい。(アンケート結果については代表的なものを末尾に紹介する)

6. 所感

今回の会員企業による部隊研修は初めての試みであった。

参加者の意見の中に、部隊の隊員との意見交換にもっと時間をかけたいとのご要望が多くあったため、基地側とも相談の上、見学時間の拡大や宿泊・意見交換会も含めた研修も検討するほか、来年度以降は陸上自衛隊・海上自衛隊の航空部隊研修も実施できるよう防衛省側と調整を始めたい。

なお、第2回百里基地研修は令和6年2月16日に開催する予定である。



研修参加者の皆様

最後に、会員企業研修を快く受け入れて頂いた百里基地広報班の皆様と、任務・訓練でご多忙の中、各装備品の展示およびご説明を

して頂いた隊員の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

【基地研修参加者アンケート結果】

①基地研修に参加した感想
自社製品が実際に使用されているところを見学できる機会は中々ないので、貴重な経験になった。 思ったよりも間近で機体を見学し、説明を受ける中で自分が国防に関わる業務をしている実感を改めて得ることができた。
自分たちの携わっている製品が最終的にどのように使われているか見る機会を得ることができ、非常によかったです。
実際に運用いただいている隊員の方の生の声を聴く機会、並びに、F-2をはじめ、UH-60J、U-125Aなど実際の装備品を間近で、手に触れられる形で見学できる機会は稀であり、隊員の皆様の貴重な時間を割いていただいたことに感謝いたします。 昨今、日本を取り巻く各国の情勢や、東南海地震など災害リスクを考えると、自衛隊員の方々が置かれている状況は日々緊張感が増していることと思います。 今回の研修を通して得られた知見をモチベーションに、自衛隊員の負荷軽減、能力強化につながるような新たな事業提案などへ昇華させたいと考えております。
百里基地へ見学しに行くまでは、航空自衛隊についてほとんど知りませんでしたが、今回見学してどのような仕事を行っているのか学ぶことが出来ました。今まで写真や画像または遠目でしか見たことがありませんでしたが、実際に実物の戦闘機及び救難機等の航空機や地对空誘導弾を間近で見ることが出来、圧巻され大変感動しました。自社が携わっている製品(自分が製造している部品)もこの中に組み込まれていることも含め目の当たりにし、操縦士や整備士等の航空自衛隊の方々はもちろん、それに関わる人たち(救助機で救助される一般人等)の命に関わるため、安心安全に搭載出来る製品や部品を製造する様、身を引き締めて今後さらに自分の製造という仕事に対し、より真摯に向き合おうと非常に感じました。
直接部隊の方にご説明・質問することもでき、双方向の内容で大変勉強になりました。 今後も継続し、他の基地や海自殿・陸自殿へ展開頂けると更に充実できるのではないのでしょうか。
基地の歴史や実機見学等により、基地の重要性や意義を理解することができた。 また、自衛隊の整備担当者へ話を伺うことができたことにより、自社製品がどのように機能するか等を確認でき、大変有意義であった。
普段滅多に見ることがない戦闘機やジェット機などを間近で見ることができてとても貴重な経験となりました。また、現役のパイロットの方や隊員の方の説明があったので知識が乏しい私でもそれぞれの機体や武器がどのような役割を担っているのか理解することができました。
戦闘機の整備区画や救難ヘリの機内に入ることができ非常に貴重な体験となりました。
普段接点のない隊員との会話や機体を間近で見られるので今後は弊社の若手社員を参加させたい。
通常話をする事が無い自衛隊員とのコミュニケーションや自社の携わる機器等を目の当たりにし、国のお役に立っている事への実感と重責を現場で認識する事が出来ました。
自衛隊見学が初めての経験でした。実際に自社製品が搭載されているところを見ることができ、非常に重要な学びの機会となりました。

装備品メーカーとしては実機に搭載されている状態を見る機会が少なく、今回の研修でモチベーションの向上につながりました。一方で、部隊様から会社に対して、「このような改良があれば助かります」という要望があれば、より良かったと思います。
広報棟での航空自衛隊百里基地の概略説明や常設展示の見学、第7基地防空隊の方による首都圏の防空システム概略や機材の説明など、普段の生活の中ではなかなか知り得ない情報が多数ありとても勉強になりました。また、戦闘機や救難隊の格納庫にて隊員の方と機体を間近に見ながらお話を伺う機会はとても貴重で良い経験となりました。
自社の製品がどのようにして運用されているのか、また運用における課題について直接部隊の方から話を伺うことができ、大変有意義な研修だったと思う。また、普段は見ることのできない装備品を見学でき貴重な体験だった。
業務上、関りの多い航空分野ですがイマイチ分かっていない部分が多かった為より興味・関心を持ついい機会を与えて頂いたと思っています。物作りをしていく上で目の前にある機体がどれほどの試験を重ねて出来ているのか理解していたので凄く感動しました。その上で日々の生産の重要性を再認識しました。
②今回参加できなかった会社および今後SJACへの入会を考えている会社へひとこと
製品が実際に使われている様子を見ることができる貴重な機会だと思うので、見学に参加するメリットは大きいと思う。
製品を実地に見学するよい機会と思いますので、ご参加をご検討いただければと思います。
自社製品が装備品のどこに・どのように組み込まれているかは、プライムメーカーでなければ知る機会は少なく、それを目に見える形で実感することは、モチベーションを高める良い機会になると思います。
実際に航空自衛隊の基地へ足を運び見学出来る機会は滅多にないため、大変貴重な体験となります。そのため、少しでも興味関心をお持ちであれば参加することを推奨します。
今回は若手教育的な側面で参加された企業も多くあったと思いますが、それに限らずベテランの方々が部隊の方に細かい疑問をぶつけられる機会かと思っていますのでとてもよい企画だと思います。
防衛に対する意識が高まり、そのことにより自社製品への自分の貢献も認識することができるため、大変有意義な研修会かと思っています。
自分が関わる製品が積載されているのを見ることができて、人命救助等の役に立っていること実感できるととてもいい機会でした。ぜひ参加をおすすめします。
部品サプライヤの立場で今回参加させていただいた者です。 ふだん装備品の実物を目にする機会はそう多く無いため、部隊の方から直接ご説明をいただいたこととも相まって、改めて各自衛隊殿ならびに防衛装備品の重要性を肌で感じることができました。他社様にとっても非常に貴重な研修機会となるかと存じます。
国や国民を想う自衛隊員の皆さんと話す事で、ものづくり企業としてのSJACの連帯感や意識が高まると考えます。貴重な機会ですので参加されると良いと思います。

自社製品の防衛産業への貢献を感じれる有意義な見学会でした。
見学検討されている企業様には参加をお勧め致します。

機体を間近で見られるので航空機好きな方にとっても良い機会かと思います。

日々業務をしていると自分たちが製造している装備品がどのように使われて、どこに改善の余地があるか見えなくなってくるが、参加することにより実際に運用されているところを見学でき、運用者と意見交換ができる。

自分たちの物づくりの最終地点を間近で見るといい機会を与えて頂きました。次回があれば急いで応募すべきだと思います。SJAC会員になることでSJACの活動を通じ、航空宇宙関係機関・関連企業と意見交換・交流を行い、航空宇宙産業に影響を及ぼす様々な課題について情報を得ることができます。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 技術部長 原野 清隆〕